

ハスモンヨトウ情報第1号（ダイズ、野菜類、花き類）

令和8年7月15日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病虫害防除室

複数地域のフェロモントラップで誘殺数が多い！

1 発生状況

ダイズほ場に設置したフェロモントラップにおけるハスモンヨトウ成虫の直近1か月の総誘殺数は、過去10年間と比較して、西尾市で最も多く、豊田市で2番目に多く、弥富市で平年並の状況です（図1）。

同様に、碧南市のニンジンほ場に設置したトラップでは平年並の状況ですが、長久手市のほ場（試験場内）に設置したトラップでは最も多い状況です。

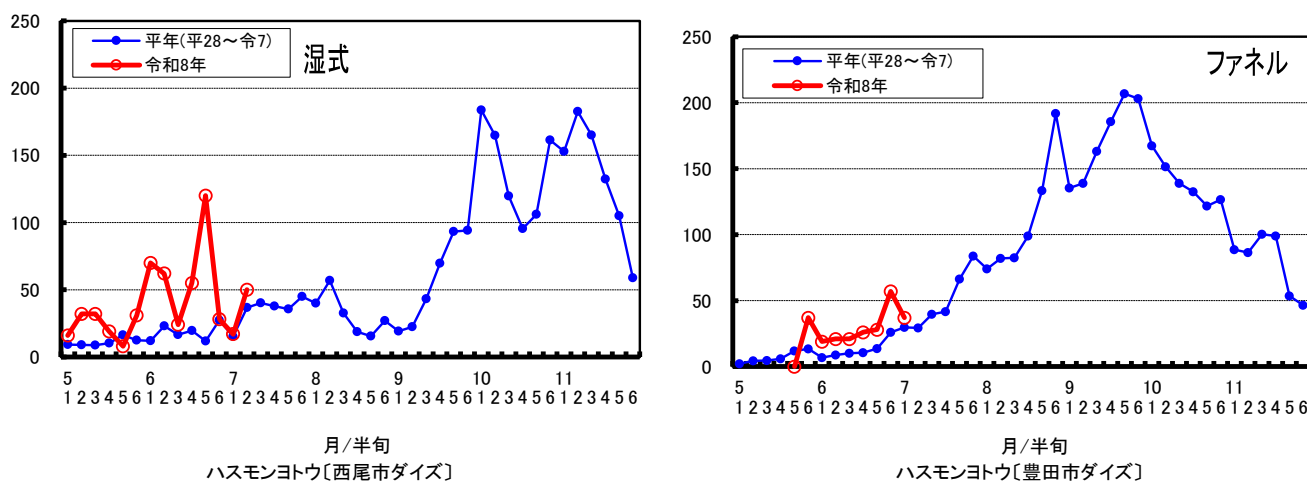


図1 フェロモントラップにおける成虫の誘殺数（単位：頭）

2 今後の見込み

名古屋地方気象台7月9日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高く、降水量はほぼ平年並と見込まれており、本種の発生に好適な条件が続くと予想されます。

今後、発生量がさらに増加する可能性があります。ほ場をよく観察し、幼虫を確認したら防除しましょう（図2、3）。

（参考：農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>)）



図2 ダイズの白変葉



図3 ハスモンヨトウの若齢幼虫